

City of Gardena

市川市の姉妹都市
ガーデナ市
[アメリカ合衆国]
California, USA





フリーウェイが交差する 太陽の街「ガーデナ市」



ガーデナ市はアメリカ合衆国カリフォルニア州にあって、ロサンゼルス市の南約23kmに位置し、1930年9月11日、ガーデナ、モネタ、ストロベリーパークの3地区が合併して誕生した市です。

夏の平均気温20度、冬の平均気温12度、年間降雨量330ミリと快適な気候に恵まれています。

市の西側をサンディエゴ・フリーウェイ、東側をハーバー・フリーウェイ、南側をアーテシア・フリーウェイが通っているため、ガーデナ市は「フリーウェイ・シティ」とも呼ばれています。1954年に制定された市の紋章にもFreeway Cityの文字が入っています。

人口は約59,000人。産業分野は、高度の機械製造から軽工業まで多岐にわたり、特に電気製品、飛行機部品、自動車部品、繊維、石油製品設備等の生産が盛んです。

市川市 ガーデナ市

姉妹都市締結までの経緯

1961年（昭和36年）、ロータリー・クラブ世界大会が東京で開催され、市川とガーデナのロータリー・クラブが姉妹縁組をしました。その後、1962年（昭和37年）2月、ガーデナ市が市川市との姉妹都市提携を希望している旨の連絡がありました。

これを受けて市川市では、文化・教育交流及び青少年交流等を通して国際親善の発展と世界平和の推進に寄与するために、姉妹都市提携について市議会に提案し、1962年（昭和37年）5月28日に承認されました。また、ガーデナ市議会においては、同年6月12日に承認されました。その後、同年11月6日には、ガーデナ市長を市川市にお迎えし、両市長の盟約書調印により市川市とガーデナ市の姉妹都市提携が成立しました。



1962.11.6 盟約書に調印する浮谷竹次郎市長

さまざまな交流

親善代表団の相互訪問

市川市とガーデナ市との間では、姉妹都市締結以来5年ごとに、市川市公式代表団・市民親善訪問団とガーデナ市親善代表団が相互に訪問し、行政と市民同士の活発な交流が続いています。

2012年（平成24年）の相互訪問は、姉妹都市締結50周年を記念するものとなりました。

7月に市川市公式代表団及び市川市民親善訪問団がガーデナ市を訪問し、ガーデナ市役所の敷地内に設けられた日本庭園開設式典での記念植樹式や、50周年記念夕食会に参加するとともに、ガーデナ市議場で行われた市長表敬訪問では、両市長による「決議書の調印」が行われました。



1967 姉妹都市5周年にあたり、両市長が国際電話でメッセージ交換



1972 キョウト・K・ナカオカ市長ご夫妻が来市し、姉妹都市10周年記念式典に出席



1987 姉妹都市25周年を記念して、ドナルド・ディア市長以下34名が来市し、いちかわ市民まつりに参加



1962 姉妹都市提携祝賀式に出席するピーター・ジェンセン市長ご夫妻

その後、11月にガーデナ市親善代表団が市川市を訪れ、市長・議長表敬訪問の後、いちかわ市民まつりや、白妙公園で開催された50周年記念植樹式に参加し、さらに50周年記念写真展示会を訪れました。白妙公園で行われた記念植樹式は、地域の有志の方々を中心に企画・実施され、タイサンボクの記念植樹や近隣幼稚園児のダンスなどが行われ、ガーデナ市親善代表団一行は多くの市民とともに楽しいひとときを過ごしました。

市川市とガーデナ市は、記念行事を通じて、これまでの友好の歩みを振り返るとともに、今後さらに両市の交流を深めていくことを誓い合いました。

市川市とガーデナ市は、記念行事を通じて、これまでの友好の歩みを振り返るとともに、今後さらに両市の交流を深めていくことを誓い合いました。



1992 姉妹都市30周年を記念して、駅前公園に設置された記念碑の除幕式に出席する高橋國雄市長とドナルド・ディア市長

青少年交流

市川市とガーデナ市は姉妹都市提携が成立して以来、高校生を中心とした青少年の相互派遣に力を注いできました。

夏休みを利用した定期的な高校生の交流は、1997年（平成9年）から始まり、現在は、ガーデナ市青少年受け入れの翌年は市川市青少年派遣を行い、その翌年は1年空けるという3年を周期とした交流を続けています。

派遣された高校生は、それぞれ約10日間という滞在期間中をホームステイ先で家族の一員として生活する中で、市の公共施設、近隣の博物館、美術館、その他の名所等を見学しながら、それぞれの国の歴史、文化、風俗、習慣を学ぶほか、自分の市や国の文化紹介を行います。また、派遣中は毎日相手市の青少年と行動をとることで、たくさんの友達をつくります。

2011年（平成23年）には、市内在住高校生9名が市川市青少年代表団としてガーデナ市を訪問し、有意義な8日間を過ごしました。2013年（平成25年）にはガーデナ市青少年代表団が市川市を訪問する予定です。



1969 市川市青少年親善訪問団14名がガーデナ市を訪問



1986 市内の学校を訪問し、そろばんを教わるガーデナ市青少年代表団



1986 茶道を楽しむガーデナ市青少年代表団



1965 葛飾八幡宮を参拝するガーデナ市青少年親善使節団



2010 県立国分高等学校を訪問し、生徒と交流するガーデナ市青少年代表団



2011 市川市青少年代表団送別会にて記念撮影



2011 ガーデナ市のサマーキャンプに参加する市川市青少年代表団

そのほかのスポーツ交流



1969 南カリフォルニア少年柔道使節団15名（うちガーデナ市居住者7名）が来市し、市川学園で親善試合を行った。



1974 ガーデナ剣道クラブ20名が来市し、国府台市民体育館で親善試合を行った。



1982 ガーデナ少年野球チーム37名がガーデナ市を訪問し、親善試合を行った。



2012.7 姉妹都市50周年を記念して、ガーデナ市議場にて決議書に調印する大久保博市長とポール・K・タナカ市長



2012.11 姉妹都市50周年を記念して、ガーデナ市親善代表団が来市（市役所前にて）



City of Gardena

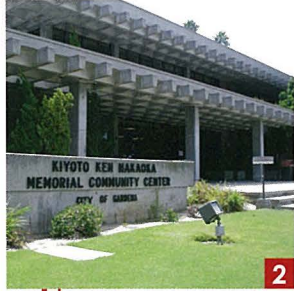


市内のみどころ

- 1 市庁舎**
- 2 ケン・ナカオカ コミュニティセンター**
市民のクラブ活動や文化活動などで積極的に利用されています。
- 3 ウォール・オブ・フェイム**
地域の発展に貢献した市民の名前を彫ったプレートを埋め込んである壁です。ケン・ナカオカ コミュニティセンター入口横にあります。2年に一度、新しく名前が刻まれる市民を讃えてセレモニーが行われます。
- 4 ガーデナ仏教会**
ガーデナ仏教会は、1962年に初代のお寺が建立されて以来、日系人の心のよりどころになってきました。1968年に国府台女子学院より梵鐘が寄贈されて以来、毎年末には参詣者によって除夜の鐘がつかれます。現在では、日曜礼拝、ふじ祭り、お盆祭りの開催や日本語学校の運営など、さまざまな事業を行っています。



1



2



3



4

Information

面積	約15 km ²
人口	約59,000人
交通	ロサンゼルス国際空港から車で約1時間。
時差	日本との時差はマイナス17時間。日本の午前10時は、ガーデナ市では前日の午後5時。サマータイム実施中は日本との時差はマイナス16時間となります。なお、サマータイムは、3月第2日曜日から11月第1日曜日までです。

ガーデナ市のお祭り

ふじ祭り ★★★★★★
毎年5月にガーデナ仏教会で開催されるお祭り。さまざまな料理の露店や手工芸品、美術品のバザーも開催されます。

ジャズ祭り ★★★★★★
ローリー記念公園で毎年8月に開催されるお祭り。さまざまなジャズ奏者の演奏を聴くことができ、市民だけでなく近隣市からも多くの人々が訪れます。

お盆祭り ★★★★★★
「慰霊祭」として知られ、毎年8月に開催されるガーデナ市の伝統的なお祭りです。数々の屋台のほかに、提灯が飾られ、カーニバルや盆踊りも行われます。

シンコ・デ・マヨ・パレード & セレブレーション ★★★★★★
「シンコ・デ・マヨ」とはスペイン語で「5月5日」を意味します。1862年5月5日、ナポレオン三世下のフランス軍をメキシコ人民軍が打ち破ったアプエブラの戦いを記念する日。ガーデナ市にはメキシコ系移民が多く暮らしているため、マス・フカイ公園でお祝いのパレードが行われます。



ジャズ祭り

ガーデナ伝統祭り ★★★★★★
毎年10月にシビックセンターで開催されるお祭り。ガーデナ市にはさまざまな人種が暮らし、多彩な文化が存在します。ガーデナ伝統祭りでは、アジア、アフリカ、メキシコ、ヨーロッパを起源とする民族料理や手工芸品、美術品のブースが用意されるとともに、ダンスなどの余興が披露されます。また、お祭り当日の朝には、ガーデナ市警察がパンケーキ朝食会を開催します。



お盆祭り



シンコ・デ・マヨ・パレード&セレブレーション



ガーデナ伝統祭り